

## 第 55 回日本臨床検査医学会総会

### EBLM 委員会企画教育セミナー「臨床検査医学のための多変量解析入門」のご案内

担当：日本臨床検査医学会 EBLM 委員会

EBLM (evidence based laboratory medicine) の実践には、検査診断に関わる evidence「事実」を文献から集め、それを批判的に吟味して、妥当な情報を集積してゆき、それを日常診療に生かすことが求められています。また、新たな「事実」を探求する場合にも適切な研究デザインとデータ解析が要求されます。

EBLM 委員会では、EBLM の知識と技術を広めるため、過去6年間、定期的に講習会を開いて来ましたが、そのテーマは、(1) 文献の批判的吟味(システムティックレビュー)法、(2) 検査の診断特性の評価指標としての感度・特異度や ROC 解析法、(3) 多変量解析による、臨床検査の変動要因の解析と検査の有用性比較についてです。このうち、(3)は臨床検査の診断特性を的確に評価する上で不可欠な手段となっていますが、これまで時間的な制約から、十分な内容ではありませんでした。

そこで、今年度は、「臨床検査医学のための多変量解析入門」と題して、臨床検査で利用されることの多い多変量解析を厳選した入門コースを企画しました。またそれぞれの基礎理論に対する詳しい解説で理解を深め、身近な数値例でその威力を十分体験していただけるよう合計6時間の構成としました。演習には汎用統計ソフト StatFlex の最新版である Ver6.0 を使い、EBLM 委員と2名のアシスタントがスムーズな操作を補助し、個別の質問にもお答えします。

どうか、この機会を利用して、EBLM の実践に不可欠となる多変量解析を基礎から学んでみてください。受講希望の方は、氏名・所属・連絡先を明記のうえ、e-mail または FAX でお申し込み下さい。

### 開催要領とプログラム

**日時：** 11月30日（日）午前9時～12時、午後1時～4時（計6時間）

**場所：** 名古屋国際会議場、4号館3階431号室

#### **プログラム内容：**

第1部：午前9～12時

##### 1) 臨床検査医学における研究デザインと偏り（50分）

検査診断に関する研究が患者対照研究などの観察的研究に依存するため、様々な偏りが入りやすいことをいくつかの観点から解説し、多変量解析の必要性を述べます。また、文献の系統的吟味(システムティックレビュー)の必要性についても触れます。

山口大学医学部附属病院 医療情報部 石田 博

##### 2) 重回帰分析の理論と臨床検査の変動要因の解析（130分）

複数の生理的変動要因(説明変数)の中で、特定の検査値への影響が強いのはどれであることを解析するのに威力を発揮する重回帰分析の原理を解説します。また、住民健診で得た身近な検査データを用いて、

実際に解析の演習していただきます。また他の多変量要因分析にも通じる、ダミー変数の作成法や、説明変数の取捨選択法など、回帰モデル構築のノウハウをお示しします。

山口大学大学院医学研究科 病態検査学分野 市原清志

山口大学大学院理工学研究科 環境共生系 山下哲平

第2部：午後1～4時

3) 多重ロジスティック分析の理論と臨床検査の診断特性の解析と判別式の作成 (90分)

最初に感度・特異度に基づくROC曲線と単変量ロジスティック曲線の関連性を解説します。つぎに、複数の検査法の診断的有用性の比較評価に不可欠となる多重ロジスティック回帰法の理論を平易に解説し、典型的な患者対照研究データを使って解析の実際を演習していただきます。また回帰式から求まるオッズ比の意味についても解説します。

順天堂大学医学部臨床病理 三宅一徳

山口大学大学院医学研究科 病態検査学分野 市原清志

4) クラスタ分析の理論と病型分類の実際 (50分)

外的な診断規準なしに、類似病態を自動的に分類する手段としてのクラスタ分析を、階層的な方法(Ward法、重心法など)と非階層的な方法(K-mean)に分けて解説します。また最新の自己組織化マップ法についても、臨床検査分野における応用例を提示します。

高知大学医学部医療情報部 片岡浩巳

5) 構造方程式モデリングによる病態と臨床検査成績の因果解析 (40分)

構造方程式モデリングは社会科学やビジネスの分野で活用されている解析法で、変数間の因果関係をグラフィカルに仮定、検証することを目的としています。本セミナーでは因果モデルの構築過程を示し、パス図の見方と直接効果、間接効果(因果関係)について解説します。

大阪大学医学部附属病院 医療技術部検査部門 山西八郎

**演習方法:** 模擬データを使った演習で理解を深めていただくことを目標としていますので、必ずノート PC (Windows 2000, XPあるいはVista およびマイクロソフト EXCELが入っていること) を持参下さい。

**受講対象者:** 日本臨床検査医学会会員(医師・臨床検査技師の別なく歓迎いたします。)

**募集人数:** 30名

**参加費:** 5,000円 (テキスト冊子代・操作アシスタント経費・通信費)

**受講申し込み・問い合わせ:** 受講希望者は氏名・所属・連絡先(電話番号・メールアドレス)を明記の上、下記までお申し込み下さい。

koya\_yu@yamaguchi-u.ac.jp (担当:山口大学医学部 市原研究室 小柳祐二)

**電話:** 0836-22-2884 **Fax:** 0836-35-5213

**申し込み締め切り:** 2008年10月31日(金)、ただし定員になり次第締め切ります。